



ごしょどき  
**御所解模様打掛** 大正期

会期

2025 7/8 火  
令和7年 — 9/28 日

展示解說

8/2 土 9/6 土

### 入館料（円）

区分	単館券		3館共通券	2館共通券	
	一般	6歳以上18歳以下	一般	一般	6歳以上18歳以下
旧長谷川家	400 [330]	200 [160]	570 [450]	490 [390]	240 [190]
旧小津家	200 [160]	100 [80]			
原田旧宅	100 [80]	無料			-

※ [ ] 内の料金は、20名以上の団体料金です。

\*3館共通券は、旧長谷川家・旧小津家・原田旧宅に入館できます。

※2館共通券は、旧長谷川家・旧小津家に入館できます。

**開館時間** 9:00~17:00（入館は16:30まで）

休館日 水曜日（祝日の場合は翌平日が休館日）

**アクセス** 電車：近鉄・JR松阪駅から徒歩10分／車：松阪ICから約10分

問い合わせー

# 長谷川家で涼を味わう

# 旧長谷川治郎兵衛家企画展示



NPO 法人松阪歴史文化会

〒515-0082 三重県松阪市魚町1653番地(旧長谷川治郎兵衛家内)

TEL : 0598-21-8600 FAX : 0598-20-9111

110

三

3

三

2025

5.20 火  
► 8.3 日

かんてんじゅ

## 没後230年記念展 書家韓天寿



△印判 江戸中後期

書家として活躍した松阪職人町（中町）の江戸店持ち商家中川家（田丸屋）の当主韓天寿（1727-1795）の書画作品や関連資料を展示します。

## ◆学芸員による展示解説

7/13(日)の午前11時より20分ほど※入館料のみ必要

2025

8.5 火  
► 9.28 日

## 松阪廣告百景

松阪は各地から訪れる伊勢参りの旅人で賑わい、宿場町として発展してきました。江戸から昭和へと時代は移り変わりますが、松阪の街は大きな賑わいを見せ続け、商店が趣向を凝らした看板や広告があふれました。本企画展では、明治期の引札や昭和期のチラシなどを紹介します。

## ◆学芸員による展示解説

8/23(土)、9/20(土)の午前11時より20分ほど※入館料のみ必要

## ◆学芸員によるミニ講座

タイトル：広告から見た松阪

とき：9/20(土)10時～11時

定員：先着15名(申込不要)※入館料のみ必要

〒515-0081 三重県松阪市本町2195番地



△引札 明治頃

中村商店(湊町)の引札で、清酒を販売していたことがうかがえる。

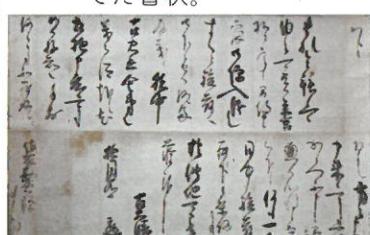


△原田嘉朝集 昭和6年(1931)

原田積善会より刊行された原田二郎の歌集。跋文は二郎に和歌を教えた佐佐木信綱が執筆している。

## ▽古田重治書状 江戸初期

古田重治が駿府に住む佐藤勘右衛門継成に宛てた書状。



2025

4.29 火  
► 7.21 月

## 原田二郎とその師たち

近代において実業家として活躍し、晩年には原田積善会を創設するなど、大きな功績を残した原田二郎（1849-1930）が出会った様々な師たちに焦点を当て、彼らにまつわる品々を通して、原田二郎の学びの軌跡をたどります。

2025

7.24 木  
► 9.28 日

## 松坂城主 古田重勝と弟重治

古田重勝は、秀吉の命により文禄4年(1595)に松坂城主となります。重勝没後は、弟の重治が重勝の遺児 希代丸(きたいまる)を立て、自らは後見人として補佐役に徹しました。本企画展では、松阪市内に残る古田家に関する資料を展示し、古田家の足跡を紐解きます。

## ◆学芸員による展示解説

8/16(土)、9/13(土)の午前11時より20分ほど※入館料のみ必要

〒515-0073 三重県松阪市殿町1290番地